

会員企業からのPRメッセージ

～いま、これに力を入れています～

水素制御装置(HCS:Hydrogen Control System) 日本海洋産業株式会社

- 代表者／松浦 福太
- 業 種／船用機関修理
- TEL／083-267-0031
- URL／<http://ww5.tiki.ne.jp/nksfm/>
- 所在地／下関市大和町1-5-8
- FAX／083-267-0048
- Eメール／[nkskad@mx32.tiki.ne.jp](mailto:nskad@mx32.tiki.ne.jp)

化石燃料からの脱却?! 既存の技術を有効利用した水素エンジンの開発

◎水素制御装置の技術開発

弊社では、既存のエンジンを廃棄することなく水素燃料を利用するため、水素制御装置(以下HCS)の技術開発を行っています。水素エネルギー(Hydrogen energy)はエネルギー消費による排出物は主に水であり、ガソリンなどの化石燃料のように二酸化炭素を発生することがありません。そのため環境にやさしいクリーンな次世代エネルギーとして注目されています。

◎既存技術に水素エネルギー技術を

近年、水素エネルギーを利用する方法として燃料電池が注目されてきました。しかし弊社では、全く新しい技術開発ではなく、既存技術に新技術を追加する事で新たな可能性を見出そうと考えています。既存技術とは化石燃料を使用するエンジンであり、新技術とは水素エネルギーです。弊社の**HCSを既存エンジンに使用することにより、既存の製品を代替せず次世代エネルギーへの対応が可能となるのです。**この技術は、様々な産業への環境問題対策を提案できる技術だと確信しています。

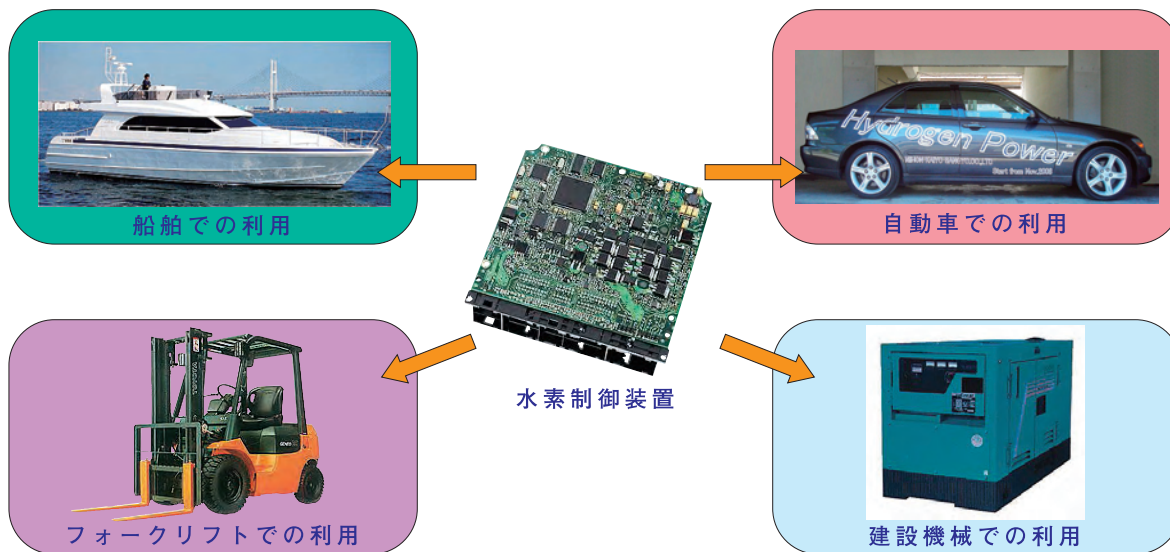
現在、弊社では船舶をはじめ自動車・発電機・フォークリフトなどで開発を進めております。

◎水素エネルギーの実用化に向けて

山口県や広島県では、官庁が既に水素自動車を導入しています。今年、福岡県が水素ステーションを完成させ、同県内で弊社製水素自動車が1年以内の実証実験用走行を始める予定です。

このような活動により、水素エネルギーへのご理解が少しずつ深まり水素社会が実現に向かえば、近い将来、エンジンを使う多くの産業が環境問題対策への選択肢の一つとして水素エネルギーを有効に利用できると考えています。

水素制御装置 (HCS) 活用例



※水素制御装置についての詳しい説明は弊社ホームページ、または弊社まで電話・FAXなどでお問い合わせ下さい。

- ◆ 掲載を希望される方は、お取引店または下記までご連絡下さい。
財団法人山口経済研究所 担当：井本 TEL：083-268-1155 FAX：083-268-1166